大腿骨近位部骨折(骨折間欠的手術)

患者氏名　　様　　主治医名：　　受け持ち看護師名：

月日(日時)		／	／	／	／	／	／　～　／	／　～　／	／	／　～　／	／
経過(病日)		手術前日	手術当日	手術1日後	手術2日後	手術3日後	手術4～6日後(離床初	手術7～9日後(介助期)	手術10日後(創傷確認	手術11～13日後(リハビリ	手術14日後(退院判定日)
達成目標		手術の必要性を理解し同意している	創痛がコントロールできる	【重点アウトカム】 創痛がコントロールできる	【重点アウトカム】 車椅子移乗ができる 膀胱留置カテーテルが抜去できる	【重点アウトカム】 車椅子トイレで排泄できる	【重点アウトカム】 介助下で歩行器歩行もしくは軽介助で車椅子移乗可	【重点アウトカム】 徐々に日常生活動作が確立できる。 ・見守りで歩行器歩行ができる	【重点アウトカム】 創治癒が良好で抜鉤できる	【重点アウトカム】 徐々に日常生活動作が確立される ・見守りまたは介助下で杖歩行できる。	周術期の治療にメドがつく ・股関節レントゲンに異常がない ・地域連携パス等での退院許可となる
		手術部位に手術できないような皮膚のトラブルがない	バイタルサインが安定している。	バイタルサインが安定している。	バイタルサインが安定している。	バイタルサインが安定している。	・禁忌肢位についての理解ができる	・禁忌肢位についての理解ができる	下肢静脈血栓症の兆候がない	禁忌肢位についての理解ができる	「杖歩行もしくは手押し車歩行ができる」「退院後の注意事項が理解できる」
		手術後のリハビリテーションが円滑に進められる	創からの出血がコントロールできる	創からの出血がコントロールできる	創からの出血がコントロールできる	創からの出血がコントロールできる					
			不良肢位による麻痺の出現がない	不良肢位による麻痺の出現がない	不良肢位による麻痺の出現がない	不良肢位による麻痺の出現がない					
			術前 / 術後								
薬剤		持参薬を看護師にお渡し下さい。									
				創傷の状態を確認してから、血栓予防のお薬が始まります。							
注射			10時以降の手術の方は点滴を始めます。 / 点滴をします。								
処置		弾性ストッキングの採寸	足の甲にマーキングをします。 / 弾性ストッキング着用は継続します。	ガーゼが汚れたら、主治医が交換します。					主治医が抜糸します。		
			弾性ストッキングを手術しない足に装着します。 / 口元に酸素をします。								
			心電図モニターを装着します。								
			血栓予防に足に機械を付けます。								
検査			手術室でレントゲン検査をします。	血液検査があります。			血液検査があります。		血液検査があります。		
安静度		病棟内でお過ごしください。	ストレチャーで手術室へ行きます。 / ベット上安静 60度ギャッジアップ可 臥床時、足の間に小さな枕 側臥位に体位変換時には股間に大きな枕を挟んでください。 禁忌肢位：股関節　屈曲・内転・外旋	ベッド上フリー ドレーン抜去後、車椅子移動可 荷重制限無し 臥床時、足の間に小さな枕 側臥位に体位変換時には股間に大きな枕を挟んでください。 禁忌肢位：股関節　屈曲・内転・外旋	ベッド上フリー ドレーン抜去後、車椅子移動可 可能なら歩行器歩行可 荷重制限無し 臥床時、股間に小さな枕 側臥位に体位変換時には股間に大きな枕を挟んでください。 禁忌肢位：股関節　屈曲・内転・外旋						
食事/水分			食事・水分は摂取できません。 / 絶食 お腹の音が確認できれば、お茶・水のみ飲めます。看護師から説明がありますので、ご確認ください。	朝から食事が再開になります。							
看護	清潔	シャワーに入れます。		週5回は身体を拭かせていただきます。						シャワー浴ができます。1回目は看護師と一緒に入	
	排泄		手術予定時間までに排泄をお済ませください。 / 手術室でおしっこの管を入れます。		おしっこの管を抜きます。	――――→	――――→	――――→	――――→	――――→	
観察		全身状態の観察 下肢の腫脹・疼痛・麻痺の有無・循環障害を観察します。									
		手術部位に傷・発赤・腫脹・湿疹の有無を観察します。		体温や血圧、しびれ、痛み、出血がないか観察します。							
				麻酔レベル・副作用の有無(嘔気・頭痛・呼吸抑制などの有無)を観察します。							
				脱臼肢位に注意 禁忌肢位：股関節　屈曲・内転・外旋 過度な内外旋・内転 しゃがむ 小枕を足の間に挟む							
指導	服薬指導	薬剤師より服薬について説明があります。									
	リハビリ指導				リハビリが始まります。	――――→	――――→	――――→	――――→	――――→	――――→
教育・説明		★お持ちであれば和式の寝巻き、吸い飲み(またはストロー)を用意してください。 入院生活や手術について説明します。日常生活の状況をお聞きします。 麻酔科医師がうかがい、麻酔についての説明があります。	手術室看護師の術前に訪問します。 ★手術前に入れ歯、指輪、ネックレス、コンタクトレンズ、ヘアピンなどは外して下さい。	手術後に主治医から説明があります。	車椅子使用方法を説明します。			転倒に注意してください。			退院時間は原則午前10時です。看護師が退院手続きの説明をするのでお部屋でお待ち下さい。 次回受診予約票・薬をお渡しします。
書類		手術承諾書、輸血承諾書 特定生物由来製品使用承諾書を看護師へお渡しください。									

★この予定表はおおよその目安です。患者様の状態により変更することがありますのでご了承ください。

ご不明な点がありましたら、入院後担当看護師にご相談ください。

★その他の物品は「入院のご案内」に書いてあるものを参考に準備してください。術後リハビリがある為、かかとのあるはき慣れた靴をご準備下さい。

三菱京都病院　整形外科　2018. 10 作成